

「JF 中高生ライブ実行委員会」の活動を見学しました。

12月8日(日)、府中町 児童センターバンビーズで、JF 中高生ライブ実行委員会による「バンビーズ 冬ライブ」が開催されました。以下の素敵なチラシに誘われライブに足を運びましたので、当日の様子をご報告いたします。



ライブ会場であるバンビーズのスタジオは、メンバーの皆さんの大切な居場所。

同団体では、メンバーそれぞれ、生活環境や抱える課題は違えども、

- ・音楽をツールとした仲間づくり
- ・地域の皆さんにも楽しんでもらうライブの企画などを通じ、自分たちの成長や町の盛り上げ等に取り組んでいるそうです。



出演準備中



袖で待機中の皆さんに話しかけたところ、先週まで試験期間だったという人もいて、「メンバーと予定を合わせて練習するのが一番大変でした」とおっしゃっていました。

また「緊張していますか？」と質問したところ、「そんなにしていない」とのこと、クリスマスの三角帽やトナカイの被り物で季節感を演出し、ライブを盛り上げようという気持ちが伝わってきました。



JFには中高生ライブ実行委員会だけでなく、ボランティアなどを行う運営メンバーもあり、受付を含め、皆さんで力を合わせ、当日の運営を行っておられる様子も印象的でした。





ライブの様子です。



JFのメンバーに、よく遊んでもらっている小学生たちが、お母さんと一緒にライブに遊びに来ていました。高校生のお兄さん、お姉さんが、自分の好きなことに夢中になっている姿は、小学生にとっても良い影響を与えるのではないかな、と思いました。



今回のライブでは、事前に数回、専門家に指導は仰いだものの、当日の音響、照明も、JFメンバーだけで回しておられました。

ライブ中何度も場所を移動し、各所で音の響きを確認していた担当者の姿なども心に残っています。

どのバンドにも、それぞれの持ち味があり、元気いっぱい音楽を楽しんでいて、その様子を見ているこちらまで、エネルギーチャージされるような気がしました。また、機材を動かしたり、場を盛り上げたり、メンバー全員が主体的に動き、協力しあっていた様子も、素晴らしいと思いました。

自分もかつてそうだったように、高校生には高校生の悩みや試練があり、ライブで楽しんでいる姿だけが彼らの真の姿ではないのはよく分かります。

ただ、だからこそJFの皆さんには、この活動を含め、起こること全てを自分の糧に変え、将来ありたい姿へと近づいていってもらえるといいなと思いつつ、ライブ会場を後にしました。



この度は、素晴らしい活動を見学させていただき、ありがとうございました！

(竹岡)